

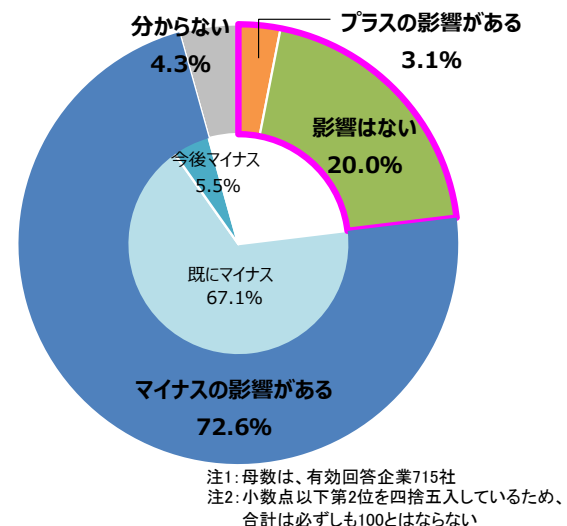
特別企画： 中国地方 新型コロナウイルス感染症に対する企業の意識調査

(2021 年 9 月)

「既にマイナスの影響あり」が 67.1%、 感染再拡大で 4 ヶ月ぶりに 65%超える

はじめに

新型コロナウイルスの新規感染者数は、7 月後半から感染力の強い変異株が猛威を振るい、8 月 20 日には 1 日当たりの新規感染者数が全国で 2 万 5000 人を超えて過去最多を更新するなど、第 5 波と呼ばれる爆発的な感染が拡大した。この間、9 月 12 日まで 13 都府県に緊急事態宣言、16 道県にまん延防止等重点措置に拡大（その後一部延長、変更、解除）され、書き入れ時のお盆や夏休みシーズンだったが、景気を下押しする事態となった。9 月後半からは、中国地方でも新規感染者数は減少傾向で推移し、広島県と岡山県に発出されていた 3 回目の緊急事態宣言は 9 月 30 日をもって解除された。こうした状況のなか、企業の業績への影響はどのようなのだろうか。



帝国データバンクは、新型コロナウイルス感染症に対する企業の見解について調査を実施した。本調査は、TDB景気動向調査 2021 年 9 月調査とともに行った。

※調査期間は 2021 年 9 月 15 日～9 月 30 日。調査対象は中国地方に本社を置く企業 1488 社で、有効回答企業数は 715 社（回答率 48.1%）。本調査は 2020 年 2 月から毎月実施。

調査結果（要旨）

1. 新型コロナウイルス感染症による業績への影響、「既にマイナスの影響がある」が 67.1%、4 ヶ月ぶりに 65%上回る。

感染の再拡大により広島県と岡山県に適用された緊急事態宣言の影響強く

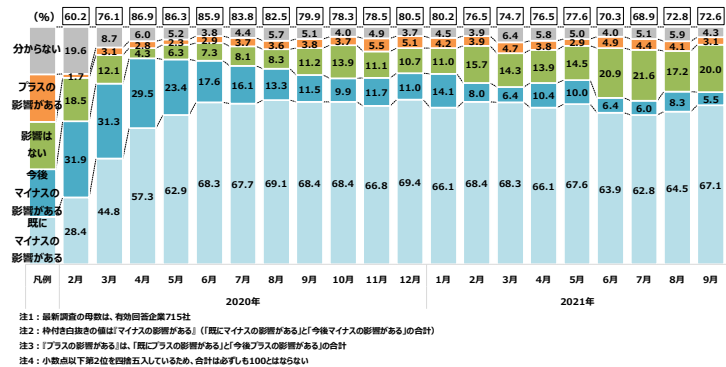
1. 「既にマイナスの影響あり」が67.1%、4ヵ月ぶりに65%超える

新型コロナウイルス感染症により自社の業績にどのような影響があるか尋ねたところ、「マイナスの影響がある」（「既にマイナスの影響がある」と「今後マイナスの影響がある」の合計）と回答した企業は715社中519社で、構成比は72.6%となり2ヵ月連続で7割を超えた。内訳は、「既にマイナスの影響がある」が67.1%（480社）となり、4ヵ月ぶりに65%を上回った。「今後マイナスの影響がある」は5.5%（39社）となり、調査を開始して以来、最も低くなった。一方、「影響はない」とする企業は20.0%（143社）で、2ヵ月ぶりに2割以上を占めた。「プラスの影響がある」（「既にプラスの影響がある」と「今後プラスの影響がある」の合計）は3.1%（22社）だった。なお、「分からない」は4.3%（31社）だった。

「マイナスの影響がある」と回答した企業についてみると、規模別では、『大企業』（構成比76.5%・75社）、『中小企業』（72.0%・444社）、『小規模企業』（70.7%・128社）の順に高かった。業種別（母数10社以上）でみると、『運輸・倉庫』（構成比81.1%・30社）が最も高く、『卸売』（75.7%・143社）、『製造』（74.2%・164社）が続いた。中国5県別でみると、『鳥取』（構成比78.7%・37社）が最も高く、『広島』（76.1%・210社）、『岡山』（72.6%・127社）が続いた。

「マイナスの影響がある」と回答した企業についてみると、規模別では、『大企業』（構成比76.5%・75社）、『中小企業』（72.0%・444社）、『小規模企業』（70.7%・128社）の順に高かった。業種別（母数10社以上）でみると、『運輸・倉庫』（構成比81.1%・30社）が最も高く、『卸売』（75.7%・143社）、『製造』（74.2%・164社）が続いた。中国5県別でみると、『鳥取』（構成比78.7%・37社）が最も高く、『広島』（76.1%・210社）、『岡山』（72.6%・127社）が続いた。

■新型コロナウイルス感染症による業績への影響



■新型コロナウイルス感染症による業績への影響（2021年9月）

（構成比%、カッコ内社数）

	プラスの影響がある	既にプラスの影響がある	今後プラスの影響がある	影響はない	マイナスの影響がある	既にマイナスの影響がある	今後マイナスの影響がある	分からない	合計
全国	5.0 (605)	2.8 (341)	2.2 (264)	17.8 (2,171)	72.1 (8,814)	66.1 (8,080)	6.0 (734)	5.2 (632)	100.0 (12,222)
中国	3.1 (22)	2.1 (15)	1.0 (7)	20.0 (143)	72.6 (519)	67.1 (480)	5.5 (39)	4.3 (31)	100.0 (715)
大企業	4.1 (4)	3.1 (3)	1.0 (1)	17.3 (17)	76.5 (75)	72.4 (71)	4.1 (4)	2.0 (2)	100.0 (98)
中小企業	2.9 (18)	1.9 (12)	1.0 (6)	20.4 (126)	72.0 (444)	66.3 (409)	5.7 (35)	4.7 (29)	100.0 (617)
うち小規模	1.7 (3)	0.0 (0)	1.7 (3)	22.7 (41)	70.7 (128)	62.4 (113)	8.3 (15)	5.0 (9)	100.0 (181)
農・林・水産	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	75.0 (3)	25.0 (1)	50.0 (2)	25.0 (1)	100.0 (4)
金融	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	66.7 (2)	33.3 (1)	33.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (3)
建設	0.9 (1)	0.9 (1)	0.0 (0)	29.2 (31)	67.0 (71)	58.5 (62)	8.5 (9)	2.8 (3)	100.0 (106)
不動産	7.7 (1)	0.0 (0)	7.7 (1)	38.5 (5)	46.2 (6)	46.2 (6)	0.0 (0)	7.7 (1)	100.0 (13)
製造	2.7 (6)	1.4 (3)	1.4 (3)	16.3 (36)	74.2 (164)	69.7 (154)	4.5 (10)	6.8 (15)	100.0 (221)
卸売	2.6 (5)	1.6 (3)	1.1 (2)	19.0 (36)	75.7 (143)	69.3 (131)	6.3 (12)	2.6 (5)	100.0 (189)
小売	9.1 (4)	9.1 (4)	0.0 (0)	13.6 (6)	72.7 (32)	68.2 (30)	4.5 (2)	4.5 (2)	100.0 (44)
運輸・倉庫	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	16.2 (6)	81.1 (30)	78.4 (29)	2.7 (1)	2.7 (1)	100.0 (37)
サービス	5.3 (5)	4.2 (4)	1.1 (1)	22.1 (21)	69.5 (66)	66.3 (63)	3.2 (3)	3.2 (3)	100.0 (95)
その他	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (3)	100.0 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (3)
鳥取	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	12.8 (6)	78.7 (37)	70.2 (33)	8.5 (4)	8.5 (4)	100.0 (47)
島根	5.1 (4)	3.8 (3)	1.3 (1)	29.1 (23)	59.5 (47)	57.0 (45)	2.5 (2)	6.3 (5)	100.0 (79)
岡山	5.1 (9)	2.9 (5)	2.3 (4)	17.1 (30)	72.6 (127)	68.0 (119)	4.6 (8)	5.1 (9)	100.0 (175)
広島	2.5 (7)	2.2 (6)	0.4 (1)	18.1 (50)	76.1 (210)	69.2 (191)	6.9 (19)	3.3 (9)	100.0 (276)
山口	1.4 (2)	0.7 (1)	0.7 (1)	24.6 (34)	71.0 (98)	66.7 (92)	4.3 (6)	2.9 (4)	100.0 (138)

注1：網掛けは、中国ブロック以上を表す

注2：全国の母数は、有効回答企業1万2,222社。中国は715社

【企業からの声】

- ・得意先の生産量が減少しているため、大きく影響を受けている（機械器具卸・岡山）
- ・ここまで悪い状況が続くと、生き残れる事業への商売替えを検討している（紙類卸・広島）
- ・雇用調整助成金の長期間の延長を望む（飲食料品卸・広島）
- ・ゼロゼロ融資の効力が切れ始めたときの世の中の様子が心配（鉄鋼卸・広島）
- ・県外からの来訪お断りの取引先があるため、定期修繕工事が進まない（機械器具卸・山口）
- ・緊急事態宣言中は訪問営業の自粛、在宅勤務、オンラインセミナーの開催などに取り組んだ（紙類卸・広島）
- ・行政からは一律ではなく、業種や規模などに見合った支援をお願いしたい（不動産・広島）
- ・接客業のため顧客に会えないと売ることができないため苦慮している。これまで縮小していたインターネット販売の掘り起こしを考えている（娯楽用品小売・広島）
- ・業務用食材メーカーであるため、飲食店の営業再開が可能となる施策を早急に開始していただきたい（飲食料品製造・岡山）
- ・遠方の商談は公共交通機関を利用していたが、社用車での直行直帰が増えた（機械製造・岡山）
- ・新工場を建設し、幅広い商品開発、販売先や販売方法の拡充により事業基盤の強化を図ることとした（飲食料品製造・岡山）
- ・自動車販売、ホテル運営、観光などの状況をみると、日本だけでなく世界的にコロナ禍が落ち着かないと、以前のような状況にはならないと思う（鉄鋼製造・広島）
- ・昨年と比較して回復基調にあり、このまま景気が上向くことを願う（機械製造・島根）

まとめ

全国で過去最多の新規感染者数を更新した第 5 波の影響を受け、広島県と岡山県にも緊急事態宣言が発出され、景気の後退がみられた 9 月の調査で、中国地方では新型コロナウイルス感染症で、67.1%の企業が自社の業績に「既にマイナスの影響がある」と回答し、4 ヶ月ぶりに 65%を超えた。一方、「今後マイナスの影響がある」と回答した企業は 5.5%にとどまり、新規感染者数の増加が 9 月後半にピークアウトしたことなどで調査を開始して以来、最も低くなった。

緊急事態宣言が 9 月 30 日に解除され、10 月 3 日には国内での新規感染者数が 3 ヶ月半ぶりに 1000 人を下回り、その後も急速に減少している。国内のワクチン希望者への接種が進み、Go To トラベルや飲食店でのクーポン配布などにより経済の活性化に期待がかかるものの、第 6 波の懸念もあり、先行きに対して慎重な見方が続くだろう。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 広島支店情報部 担当：藤井・松岡

TEL：082-247-5930 FAX：082-249-1242

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。
著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。